

製品名: Artn ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07178**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:50-1:200, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	ARTN EVN
別名	Artemin (Enovin; Neublastin)
遺伝子 ID	9048.0
SwissProt ID	Q5T4W7
免疫原	アミノ酸配列範囲: 101~150 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

背景

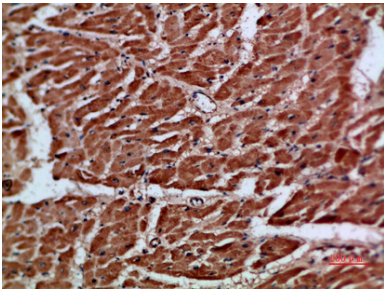
この遺伝子は、グリア細胞株由来神経栄養因子 (GDNF) サブファミリーおよび TGF- β (形質転換成長因子 β) スーパーファミリータンパク質の分泌リガンドをコードしています。このファミリーのリガンドは様々な TGF- β 受容体に結合し、遺伝子発現を制御する

SMAD ファミリー転写因子のリクルートメントと活性化につながります。コードされているプレプロタンパク質はタンパク質分解処理され、ジスルフィド結合ホモ二量体の各サブユニットを生成します。このタンパク質は、RET 受容体および GFR α 3 共受容体を介してシグナルを伝達し、多数の末梢神経細胞集団と少なくとも 1 つのドーパミン作動性中枢神経系神経細胞集団の生存をサポートします。このタンパク質は、乳癌において腫瘍の増殖、転移、および薬剤耐性を促進することも示されています。[RefSeq 提供、2016 年 8 月]、発生段階: 胚発生中に発現。胎児の腎臓および肺で高発現が認められる一方、胎児の脳では低発現が認められる。機能: GFR- α -3-RET 受容体複合体のリガンドであるが、GFR- α -1-RET 受容体複合体も活性化することができる。培養下において感覚および交感神経末梢ニューロンの生存をサポートし、また腹側中脳のドーパミン作動性ニューロンの生存もサポートする。類似性: TGF- β ファミリーに属する。GDNF サブファミリー。サブユニット: ホモ二量体; ジスルフィド結合型。組織特異性: 普遍的。前立腺、胎盤、膵臓、心臓、腎臓、下垂体、肺、精巣などの末梢組織で高発現する。脳では低発現する。、

研究分野

神経科学

画像データ



パラフィン包埋ヒト心臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された